



この度はTRIM SPA TS-1000をお買い求めいただきまことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

電解還元温泉器[トリム・スパ]

TRIM SPA
TS-1000

取扱説明書



■特に下記の警告マークが付いている文書は、必ずお読みください。

マーク	危険度の目安
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 (本文中、□で囲んであります。)
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性また物的損害が想定される内容を示しています。 (本文中、□で指示してあります。)

■表示マークの説明

マーク	タイトル	意味
	一般	特定しない一般的な注意、警告、危険の通告に用いる。
	一般	特定しない一般的な禁止の通告に用いる。
	一般	特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示に用いる。
	分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告に用いる。
	電源プラグをコンセントから抜け	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示する表示に用いる。

ご使用上の注意

電解還元温泉器トリム・スパの性能・機能を維持し、衛生的で快適な電解還元温泉浴をしていただくためのご使用方法を下記に記載しておりますので、必ずお守りください。

性能・機能の維持や衛生的にご使用いただくために、下記の事柄をお守りください。

注意

●入浴前

- (1) 本器は入浴10分前までに運転開始してください。10分後に自動的に運転を停止します。
- (2) 入浴に際しては、かけ湯で、全身をよく洗ってから入浴してください。

●入浴中

- (1) 浴用水を飲んだり、口をゆすいだりしないでください。
- (2) 身体を洗うときは浴用水を使い、浴用水が少なくなったら、足し湯または足し水をしてください。足し湯または足し水が全浴槽水の1/3以上の場合は再運転(6ページ参照)してください。
- (3) 身体に傷や化膿症のある方は、患部を浴用水につけないでください。
- (4) タオルを浴槽内で使用しないでください。

●入浴後

- (1) 本器は24時間風呂ではありませんので、入浴後は毎日浴槽水のお湯を抜いてください。
- (2) 抜き取った後に、浴槽に付着した湯垢や汚れをスポンジなどで清潔に掃除をしてください。
- (3) 吸水ホースの先端部のプレフィルター(ウレタン発泡)、吸水フィルターに付着している髪の毛などのゴミを取り除いてください。

●メンテナンス

- (1) 残留塩素除去剤は最低年1回交換してください。
- (2) 循環流量が低下した場合(コントロールパネルの「フィルター清掃サイン」が黄色に点灯)は、吸水口内のプレフィルター(ウレタン発泡)、吸水フィルターを掃除してください。(8ページ参照)

本体内部を常時清潔に保つために3ヶ月に一回、3リットルの水道水と塩を専用容器に入れ除菌水(電解次亜水)で、本体を洗浄除菌してください。(10~11ページ参照)

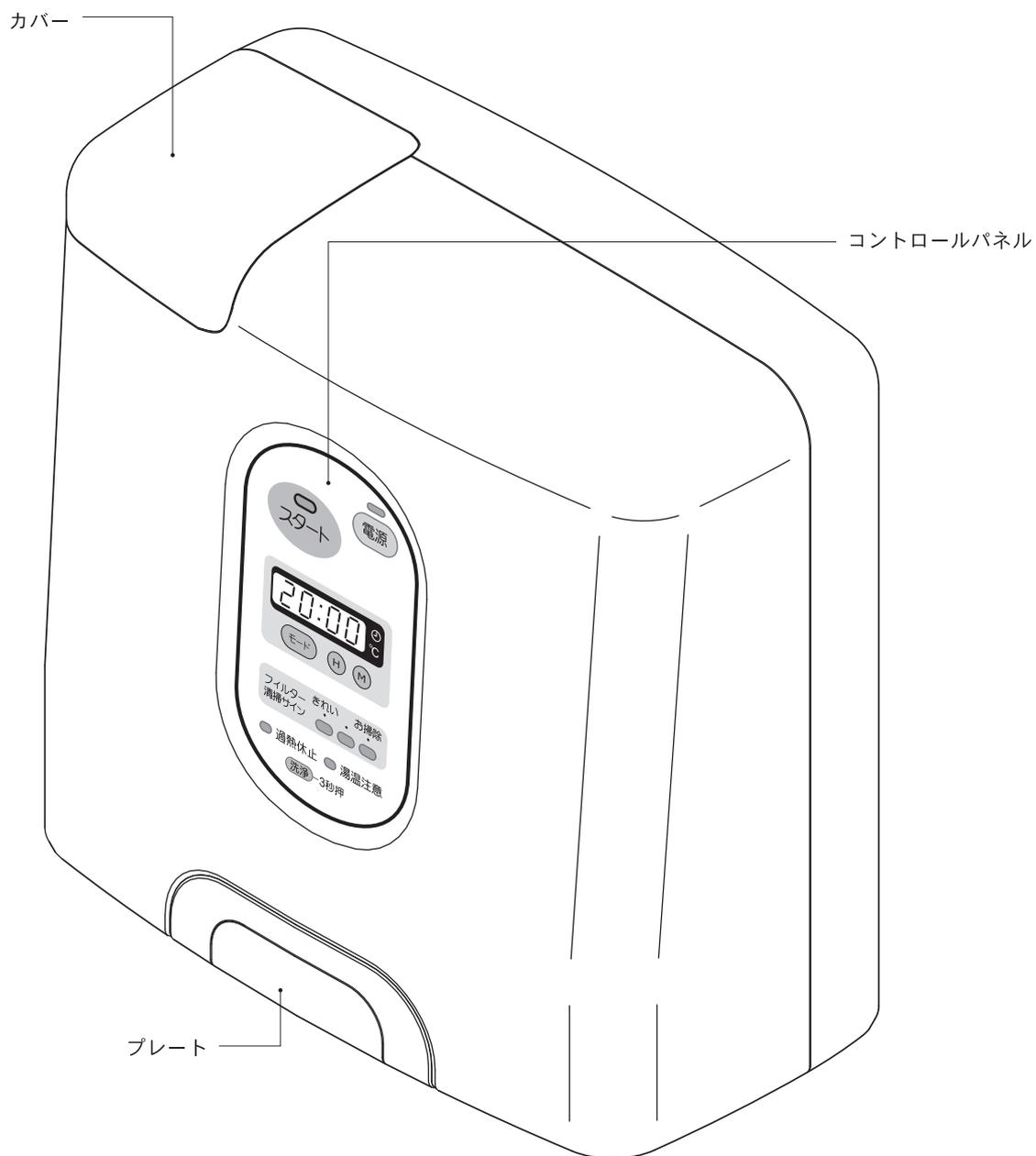
- (1) 通常の入浴以外の目的には使用しないでください。
- (2) 入浴剤を使用する場合は先に本器を運転し、停止した後にお入れください。この時、再運転を行うと本体の故障や発熱につながる恐れがありますのでおやめください。また硫黄や、塩を大量に含有した入浴剤などは本体の寿命を短くする恐れがありますので使用はお避けください。
- (3) 鉄分や濁りのある井戸水などは使用しないでください。
- (4) 残留塩素除去剤の交換時や吸水口内のプレフィルター(ウレタン発泡)、吸水フィルターの清掃時は運転を停止してください。
- (5) プレフィルター、吸水フィルターを外して運転しないでください。
- (6) 吸水ホースと吐水ホースを入れ替えないでください。

 警告

	<p>設置は専門業者に依頼してください。 自分で設置をされ、不備があると水漏れ・感電・火災・その他事故の原因となります。 なお、本体の移動、転居などの場合は販売店または当社にご相談ください。</p>
	<p>湯かげんを確かめてから入浴してください。 やけどの恐れがあります。</p>
	<p>お子様には本器に触れさせないようにしてください。 本器の転落事故の恐れがあります。</p>
	<p>消耗品(残留塩素消去剤)の交換やメンテナンスは定期的を実施してください。 本器の性能低下や安定運転が損なわれる場合があります。</p>
	<p>電源電線は他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。感電や過熱・火災の原因となります。</p>
	<p>電源電線は、無理な力をかけたり、破損させたり、加工しないでください。 感電や火災の原因となります。</p>
	<p>プラグ型漏電ブレーカーを抜き差しし、本器の運転や停止をしないでください。 感電や火災の原因となります。</p>
	<p>プラグ型漏電ブレーカーは確実に差し込まれているか確認してください。 ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因となります。</p>
	<p>ご自分での本器の改造、分解、修理は絶対にしないでください。 火災や感電の原因となります。 その結果生じた事故については、当社は一切責任を負いません。</p>
	<p>ぬれた手で、プラグ型漏電ブレーカーの抜き差しをしないでください。 感電の恐れがあります。</p>
	<p>本体を誤って浴槽水に落とした場合は感電の原因となりますので、①プラグ型漏電ブレーカーをコンセントから抜き、②本体を引き上げ、③販売店または当社に修理を依頼してください。</p>

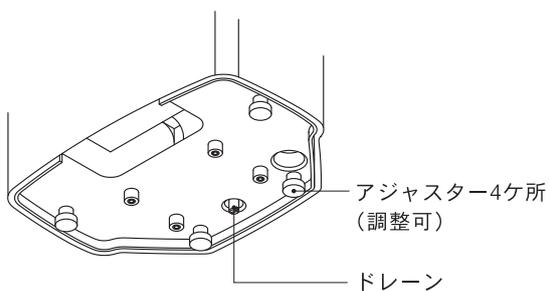
各部の名称

■ 正面



2

■ 底面





注意

	<p>プラグ型漏電ブレーカーに水やお湯をかけないでください。 故障や火災の原因となります。</p>
	<p>本体には多量の水やお湯をかけないでください。 故障や火災の原因となります。</p>
	<p>本体の上に乗ったり、体重をかけるなど無理な力をかけないでください。 ケガや故障の原因になります。</p>
	<p>プラグ型漏電ブレーカーを抜く時は、プラグを持って行ってください。 電線を持って引き抜いたりすると断線して、発熱や火災の原因となります。</p>
	<p>本体が確実に固定されていることを定期的を確認してください。 転倒してケガや故障の原因になることがあります。</p>
	<p>雷雨時は、電源スイッチを切り、プラグ型漏電ブレーカーを抜いてください。 ショート、漏電、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>プラグ型漏電ブレーカーのテストボタンで動作確認を月に一回必ず行ってください。 動作不良の場合は感電の原因となります。動作確認は8ページを参照ください。</p>
	<p>屋外に設置されたコンセントから電源をとる場合は、販売店または当社にご相談ください。 自分で工事され、不備があると感電、火災、事故の原因となる場合があります。</p>
	<p>呼び水を入れずに運転しないでください。 ポンプが空運転となり、発熱し火災の原因となる場合があります。</p>
	<p>掃除、お手入れの際は、必ずプラグ型漏電ブレーカーをコンセントから抜いてください。 故障や感電の恐れがあります。</p>
	<p>長期間ご使用しない場合は、安全のためプラグ型漏電ブレーカーをコンセントから抜いて ください。 ホコリが溜まって発熱し火災の原因になることがあります。</p>

■コントロールパネル部名称と働き

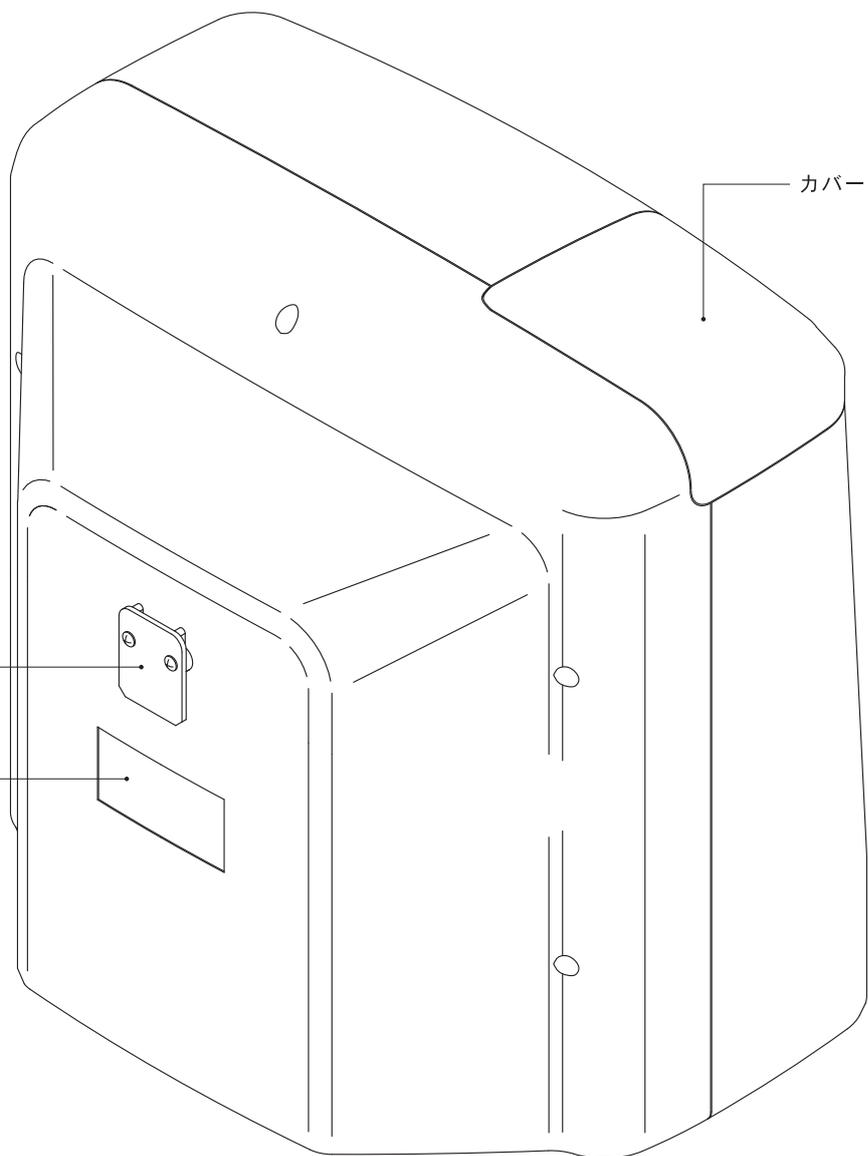


- ①電源スイッチ
スイッチを押すと、電源が入ります。
- ②電源ランプ
電源が入ると点灯します。
- ③スタートスイッチ
スイッチを押すと、運転(10分間)を開始します。
- ④運転ランプ
運転を開始すると点灯します。
- ⑤表示部
時刻、温度、タイマー(電解・洗浄時間)、エラーを表示します。
- ⑥モードスイッチ
スイッチを押すと、時刻(運転中はタイマー)または浴水の温度(20秒間)を表示します。
- ⑦時刻設定スイッチ
1秒以上押すと、設定モード(点滅表示)になって、Hで時間、Mで分の時刻が設定できます。
- ⑧フィルター清掃サインランプ
吸水フィルター部の目詰まり状況を表示します。(緑色点灯:きれい、黄色点灯:詰り気味、赤色点滅:お掃除)
- ⑨湯温注意ランプ
浴槽水が50℃以上になると赤ランプが点滅し、運転を停止します。
- ⑩過熱休止ランプ
本体内部の温度が過熱し過ぎると赤ランプが点滅します。
10分後には消灯し、自動的に待機状態に戻ります。
- ⑪洗浄スイッチ
本体の洗浄運転時に使用します。ボタンを3秒以上押すと洗浄運転を行い、10分後に停止します。

目 次

ご使用上の注意	1
各部の名称	
■正面	2
■底面	2
■コントロールパネル部名称と働き	3
■背面	4
付属品	5
本体の設置	6
運転方法	
■操作手順	6
■現在時刻の設定方法	7
■時刻と浴槽水の温度表示	7
安全・安心してご使用いただくために	
■プレフィルター(ウレタン発泡) 吸水フィルターの清掃	8
■残留塩素消去剤の交換	8
■湯温注意ランプが点滅した場合は	8
■過熱休止ランプが点滅した場合は	8
■本体表面のお手入れ	8
■プラグ型漏電ブレーカーの点検	8
■本体の動作確認	8
■長期間使用しない場合	9
■呼び水の入れ方	9
■エラー表示の原因と処置方法	9
■「故障かな?」と思った時	10
除菌水(電解次亜水)による本体洗浄除菌方法	
1. 洗浄方法	10-11
2. 除菌水取扱い上の注意事項	11
保証・メンテナンスについて	12
■保証書について	
■メンテナンスについて	
■補修用性能部品について	
■ご転居または本器移設の場合は	
■アフターサービスについて	
仕様・外観図	12

■ 背面



4

付属品

<p>浴用水の吸水・吐水関係</p>	<p>吸水ホース(600mm)…1</p> <p>吐水ホース(600mm)…1</p> <p>予備ホース(600mm)…1</p> <p>吸水フィルター…1</p> <p>プレフィルター…2 (消耗品)</p> <p>吐水口…1</p> <p>L型アダプター…2</p> <p>I型アダプター…2</p> <p>吸盤…2</p> <p>配線補助材料…1</p> <p>L型継手…2</p>
<p>本体設置関係</p>	<p>取付板…1</p> <p>設置台…1</p>
<p>その他</p>	<p>プラグ型漏電ブレーカー…1 (接続説明書付)</p> <p>専用洗浄容器…1</p> <p>塩(純度99%以上) 計量スプーン付…1 (消耗品)</p> <p>キャップレンチ…1</p> <p>残留塩素消去剤…1 (消耗品)</p> <p>保証書…1</p> <p>別冊[設置工事説明書]…1</p> <p>取扱説明書(本書)…1</p>

本体の設置

本体は別冊「電解還元温泉器 TRIM SPA TS-1000 設置工事説明書」を熟読し、説明書に従い設置してください。

運転方法

運転前に次のことをご確認ください。

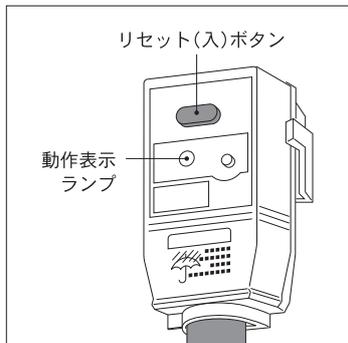
①コンセントにプラグ型漏電ブレーカーが差し込まれ、「動作表示」ランプが消えていることを確認してください。

ランプが点灯している時はリセット

(入)ボタンを押して消してください。

②本体が安定した状態に設置され、吸吐水ホース(吸水ホースと吐水ホース)が接続されているか確認してください。

③呼び水が入っているか確認してください。呼び水が入っていないと運転しません。運転しない場合は呼び水を入れてください。(9ページ参照)

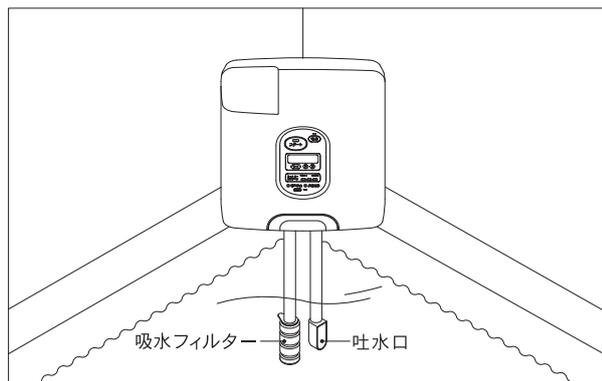


6

■操作手順

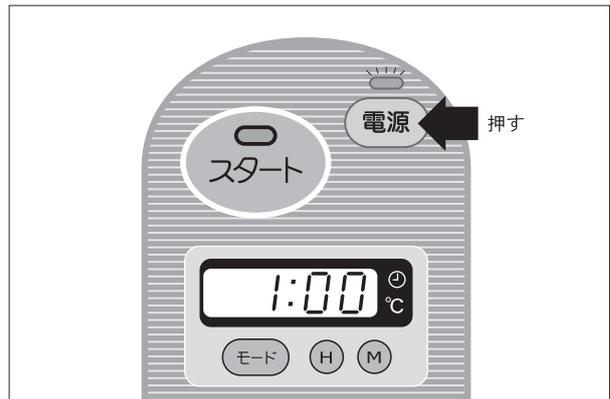
①浴槽にお湯または水道水を入れる

浴槽のお湯または水道水を吸水・吐水ホースの先端部の吸水フィルターと吐水口が完全に沈むまで入れてください。



②電源スイッチを押す

電源ランプが点灯し、待機状態となり、表示部に1:00が点滅表示されます。



③スタートスイッチを押す

運転ランプが点灯し、運転を開始し浴槽水の電解を行います。表示部に自動的にタイマー「10:00」が表示され、カウントダウンし、10分後に運転を停止します。

*再度スタートスイッチを押すと運転を開始し、10分後に停止します。



注意 初回の運転時には浴槽水が泡立ち、白く濁る場合がありますが、時間が経過すると泡が消え透明な水に戻ります。

注意 吸水ホースや吐水ホースを押しつぶしたり、無理にねじ曲げたりしないでください。その状態にすると、フィルター清掃サインランプの黄色が点灯または赤色が点滅します。

■現在時刻の設定方法

[時間の設定]

Hスイッチを1秒以上押し続けると、表示部の時間が点滅します。点滅中はHスイッチを押す毎に1時間ずつ進みます。

点滅時にHスイッチを1秒以上押すと早送りできます。操作終了後、約3秒で点滅が点灯となり、設定が終了します。

[分の設定]

Mスイッチを1秒以上押し続けると、表示部の分が点滅します。点滅中はMスイッチを押す毎に1分ずつ進みます。

点滅時にMスイッチを1秒以上押すと早送りできます。操作終了後、約3秒で点滅が点灯となり、設定が終了します。

■時刻と浴槽水の温度表示

[時刻を表示したい場合は]

モードスイッチを押すと表示部に時間と分が表示されます。運転中にモードスイッチを押すとタイマーを表示します。

[浴槽水の温度を表示したい場合は]

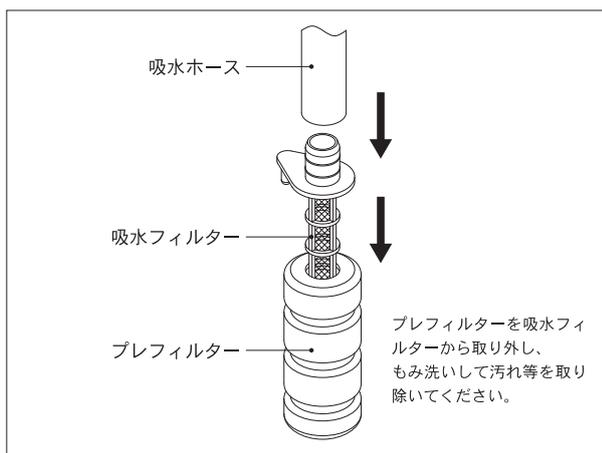
モードスイッチを押すと20秒間、表示部に温度が表示されます。



安全・安心してご使用いただくために

■プレフィルター（ウレタン発泡） 吸水フィルターの清掃

トリム・スパを使用していると、プレフィルター（ウレタン発泡）部に髪の毛などの汚れが徐々に詰まります。フィルター清掃サインランプの黄色が点灯または赤色が点滅したら、プレフィルターと吸水フィルターのメッシュ部の汚れを取り除いてください。汚れを取り除きますと、緑色（きれい）が点灯します。



■過熱休止ランプが点滅した場合は

本体内部の温度が過熱すると運転を停止します。次に、停止と同時に「過熱休止ランプ」が点滅、10分後には消灯し、待機状態に戻ります。再度スタートスイッチを押して運転を開始してください。

■本体表面のお手入れ

本体及びホースは柔らかい布で、時々拭いてください。ベンジン、シンナーやクレンザーなどは使用しないでください。

強酸や強アルカリ洗剤または薬品などは使用しないでください。

■プラグ型漏電ブレーカーの点検

プラグ型漏電ブレーカーは、月一回程度「テスト（切）ボタン」を押して動作確認を行ってください。

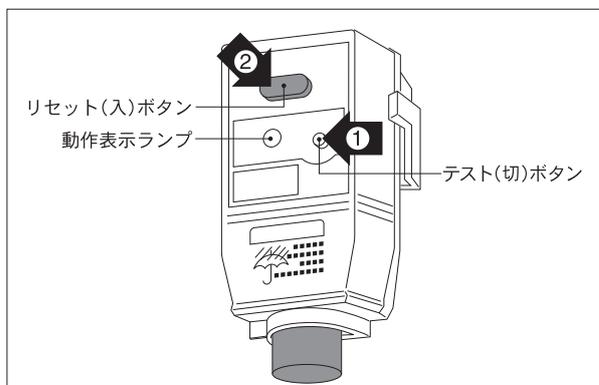
[1]テスト（切）ボタンを押す。

①正常なときは「動作表示」ランプが点灯します。

②本体の操作パネル部の表示がすべて消えます。

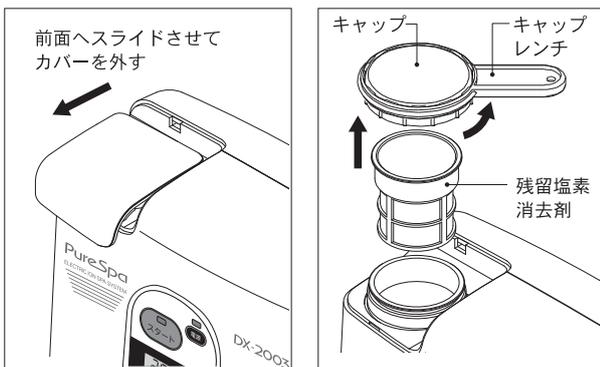
[2]リセット（入）ボタンを押す。

本体に再び電源が入り操作パネル部の表示が点灯します。



■残留塩素消去剤の交換

本体上部のカバーを前方にスライドして取り外します。専用のキャップレンチでキャップを取り外し、残留塩素消去剤を取り出します。



新しい残留塩素消去剤を挿入し、キャップを閉め、カバーを元に戻してください。

■湯温注意ランプが点滅した場合は

浴槽水が50℃以上になると「湯温注意ランプ」が点滅し、運転を停止します。

水を足して、入浴温度40℃前後に下げた後から再運転をしてください。

注意 「湯温注意ランプ」が点滅し、運転が停止した場合はやけどの危険がありますので入浴しないでください。

■本体の動作確認

下記に示す状態が発生した場合は本体の動作を確認してください。プラグ型漏電ブレーカーの安全装置が働き、本体の動作が停止していると考えられます。

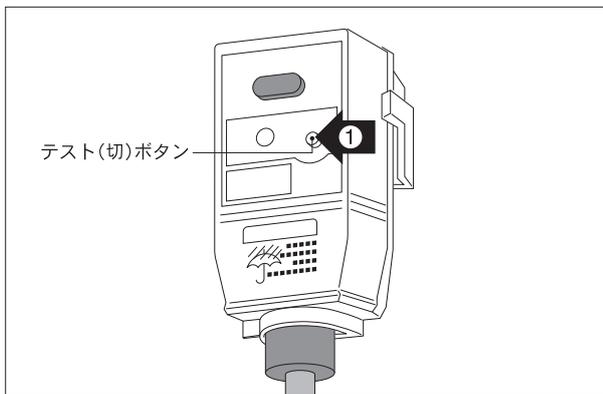
1. 本体を移動した場合
2. 強く触れ、本体が振動した場合
3. 本体が転倒、落下した場合
4. 地震が発生し、本体が大きく揺れた場合
5. 落雷など大きな過電流が流れた場合

上記の状態が発生し、本体が動作しない場合はプラグ型漏電ブレーカーの「リセット（入）ボタン」を押してください。本体が動作するようになります。

■長期間使用しない場合

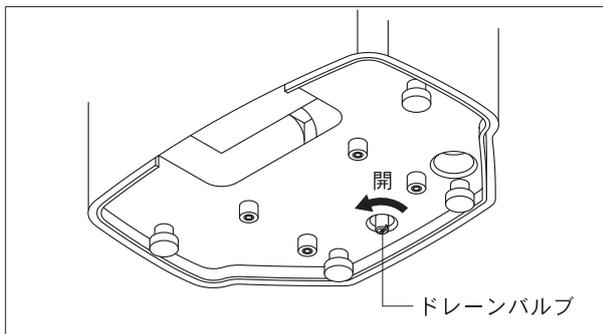
長期間ご使用にならない場合は、本体内部の水が凍結や腐敗する恐れがありますので、本体の水抜き(下記③)を行ってください。

①プラグ型漏電ブレーカーのテスト(切)ボタンを押し、操作パネルの表示がすべて消えたことを確認してください。

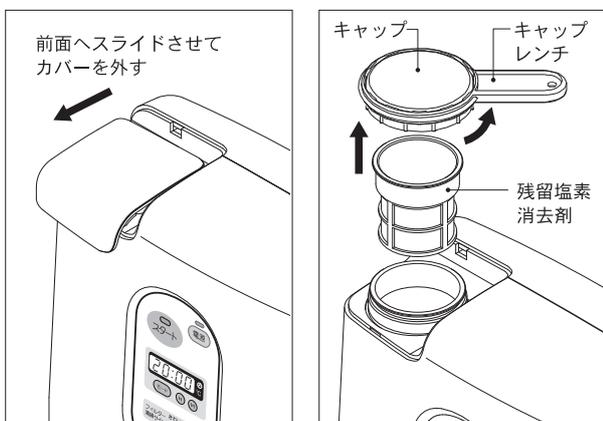


②浴槽水はすべて抜いてください。

③本体の底にあるドレインつまみを回して、ドレインバルブを開いてください。水抜きが終了したら、ドレインバルブを閉じてください。



④残留塩素消去剤はTS専用のキャップレンチで本体から取り外して、通風の良い場所に保管しておいてください。カビの発生などを防ぐためです。



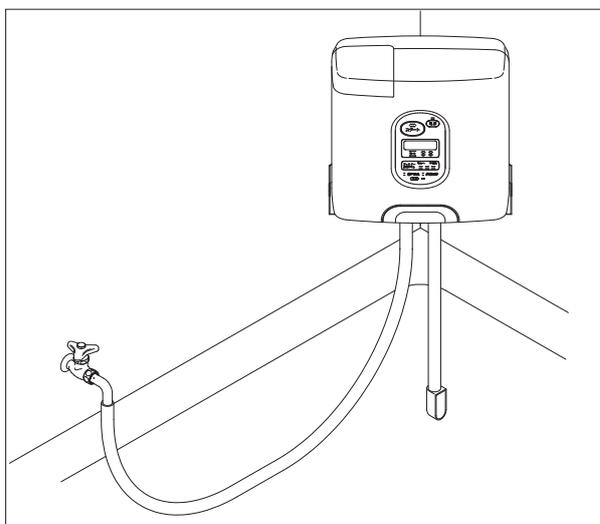
長期間使用せず、再度使用する時や、最初に使用する時は、呼び水が入っていることを確認してください。

⚠ 注意

呼び水を入れないで運転しないでください。ポンプが空運転となり、発熱し火災の原因となることがあります。

■呼び水の入れ方

吸水ホースから呼び水を注入し、吐水ホースから流出した時点で、呼び水の注入を停止します。尚、呼び水の注入は吸水ホースの吸水フィルターを取り外し、水道の蛇口に接続して行ってください。長さが足りない場合は別のホースを利用して接続してください。



■エラー表示の原因とその処置方法

本体に異常が生じると表示部にエラーメッセージが数字で表示されます。

エラー表示が出た場合は、下記のような処置を行ってください。

エラー表示	原因	処置方法
E-11	呼び水がない (E-11以外は表示しない)	呼び水を入れ、プラグ型漏電ブレーカーを引き抜き、再度差し込んでください。
E-45	電解電圧が高過ぎ	販売店または当社へご連絡ください
E-46	電解電流が流れ過ぎ	

⚠ 警告

処置を行ってもエラー表示が消えない場合は、直ちにプラグ型漏電ブレーカーをコンセントから抜いて、販売店または当社までご連絡ください。ショート、感電、火災、故障の原因となります。

■故障かな?と思った時

●電源ランプが点灯しない

1.プラグ型漏電ブレーカーが差し込まれているか確認してください。

差し込まれていない場合は差し込んでください。

2.プラグ型漏電ブレーカーのランプが点灯していないか確認してください。

点灯している場合はプラグ型漏電ブレーカーのリセット(入)ボタンを押してください。それでもランプが点灯する場合は販売店または当社にご連絡ください。

●スタートスイッチを押しても運転しない

1.プレフィルター(ウレタン発泡)、吸水フィルターが髪の毛などのゴミで詰まっていないか確認してください。

それらのフィルターにゴミなどが詰まると、吸引しなくなり運転を停止し、運転ランプが消灯します。ゴミなどを除去し、スタートスイッチを押すと運転を開始します。

2.浴槽水の温度が50℃以上になっていないか確認してください。

水を足すなどして浴槽水の温度が40℃前後になってからスタートボタンを押すと運転を開始します。

3.浴槽水の水量を確認してください。

浴槽水の水量が少なく、吸水フィルターが浴槽水に漬かっていないと運転を開始しません。お湯または水を追加し、スタートボタンを押すと運転を開始します。

4.呼び水を入れてください。

長期間使用せず、ドレーンバルブから水が抜かれ、本体内に水が無い場合は呼び水を入れてください。(9ページ参照)

⚠ 警告

上記の処理を行っても直らない場合や、上記以外の場合は、直ちにプラグ型漏電ブレーカーをコンセントから抜いて販売店または当社にご連絡ください。

決してご自分で修理または分解などしないでください。ショート、感電、火災、故障などの原因となります。

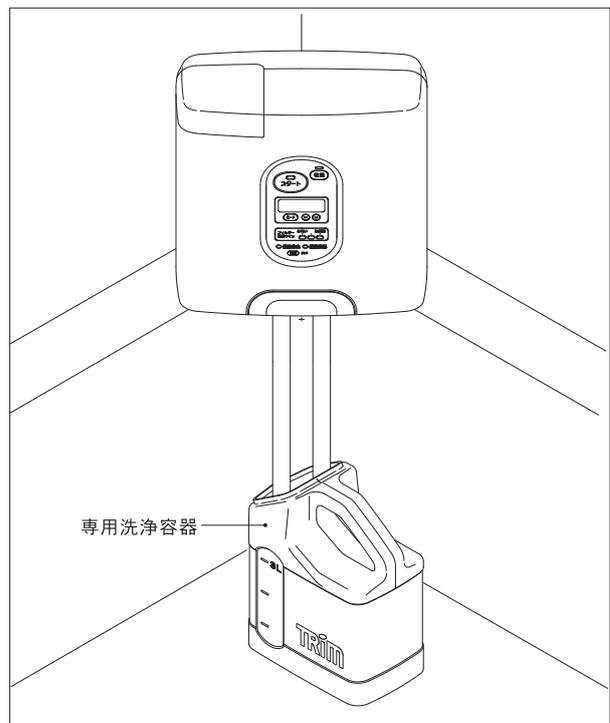
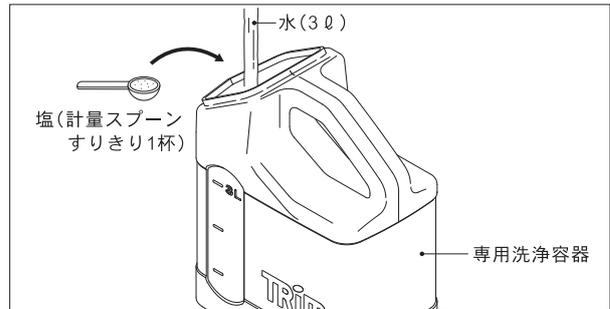
除菌水(電解次亜水)による 本体洗浄除菌方法

「除菌水」でトリム・スパの本体水路系の洗浄除菌を行ってください。専用容器に水道水と塩(純度99%以上)を入れ電気分解すると、次亜塩素酸を含む電解次亜水が生成されます。この電解次亜水が本体水路系を洗浄除菌します。

以下の使用方法を守って正しく洗浄してください。

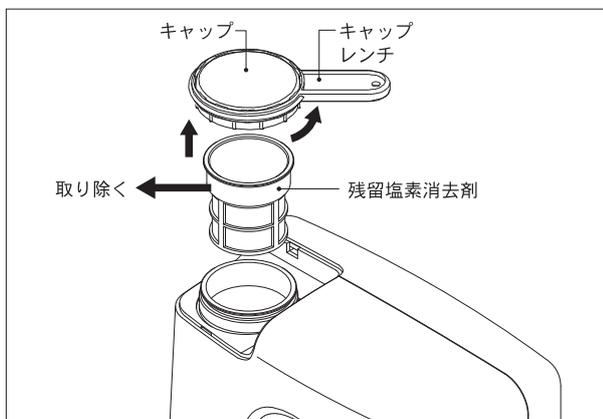
1.洗浄方法

①3ヶ月に一度本体を除菌水(電解次亜水)で洗浄してください。専用洗浄容器に水道水を3ℓ、塩を約8g(付属の計量スプーンすりきり1杯)を入れ、本体の吸水ホースと吐水ホースを専用洗浄容器に挿入し、浴槽の底面に置いてください。この時、吸水フィルターと吐水口が除菌水に漬かっていることを確認してください。



注意 塩は8g以上入れないでください。入れ過ぎると電流が流れ過ぎ、「E-46」のエラーが表示されます。

②本体上部のカバーを前方にスライドして取り外します。次に、内部のキャップをTS専用のキャップレンチで取り外し、残留塩素消去剤を取り除きます。その状態でキャップをキャップレンチで確実に閉めてください。



③本体の電源スイッチを入れ、洗浄スイッチを3秒以上押しと10分間洗浄され、本体は停止します。



④使用済みの洗浄水は環境を汚染することはありませんので、そのまま排水してください。尚、殺菌の機能が残っていますので、浴室の床や浴槽内の洗浄除菌に使用することもできます。

⑤洗浄除菌が終了したら、残留塩素消去剤を本体に挿入し、キャップを閉め、カバーを元に戻してください。

2. 除菌水取扱い上の注意事項

⚠ 注意

⚠	<p>●「除菌水」を他の塩素系薬剤(浴槽洗浄剤、台所用洗剤等)やアルカリ洗剤と混合しないでください。有害な塩素ガスが発生する場合があります、危険です。</p>
	<p>●「除菌水」を飲んだりしないでください。誤って飲んだ場合はすぐに水を飲むなどの処置をし、必要に応じ医者に見てもらってください。</p>
	<p>●「除菌水」をアルカリ性剤、脱塩素剤と混ぜるなど直接触れないようにしてください。有害なガスが発生することがあり、危険です。</p>
	<p>●「除菌水」を生成する塩は純度99%以上のものを使用し、専用容器に8g以上入れないでください。純度が99%以下の塩を使用したり8g以上の塩を添加すると本体の故障や発熱、火災の原因となります。</p>
	<p>●残留塩素消去剤を入れたまま洗浄スイッチを押さないでください。洗浄スイッチを押すと残留塩素消去剤と次亜塩素酸が反応(泡が発生)し、有害なガスが発生し危険です。</p>

保証・メンテナンスについて

製品の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。この期間に、正常なご使用状態で万一故障等の異常が生じた場合は、保証規定に従い、無償で修理または代品と交換いたします。

■保証書について

本商品には、保証書を添付しております。保証書は、お買い上げの販売店や販売員が所定事項を記入の上お渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管ください。

■メンテナンスについて

本商品をいつまでも、性能を維持し、安心してご愛用いただくために、以下の消耗品を定期的に交換してください。

- プレフィルター(ウレタン発泡)
交換の目安:6ヶ月毎に交換する。
- 残留塩素消去剤
交換の目安:1日1回運転として、1年に1回交換する。(1日2~3回運転する場合は6ヶ月に1回交換してください。)
- 除菌水による洗浄
洗浄の目安:3ヶ月に1回洗浄除菌を行う。
塩(99%以上)がなくなった場合は純度99%以上の塩をスーパーなどお店でお買い求めください。

■補修用性能部品について

補修用性能部品の有効期間は、製造打ち切り後7年です。性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご転居または本器移設の場合

本器の取り外し、設置は販売店または当社に依頼してください。

■アフターサービスについて

製品は品質管理の下で製造及び検査を行っていますが、万一故障やその他不具合が発生した場合や商品、使用上のお問い合わせは下記へご連絡ください。

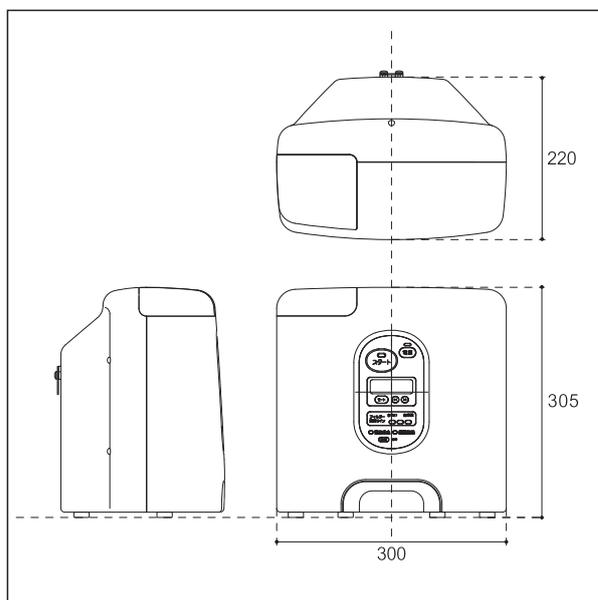
フリーダイヤル ミズハ トリム 0120-328-106

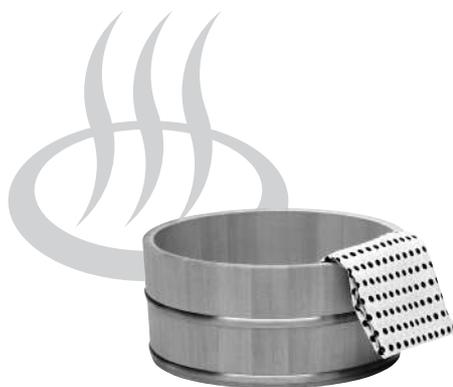
仕様・外観図

■仕様

型 式	TRIM SPA TS-1000
定 格 電 圧	AC 100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
定 格 消 費 電 力	300W(MAX400W)
電 解 生 成 電 圧	40V(MAX50V)
循 環 処 理 量	10ℓ / 分
定 格 運 転 時 間	10分
浴 槽 容 量	350ℓまで
設 置 場 所	室内用(浴室室内用)
本 体 重 量	約6Kg
外 形 寸 法	W300×H305×D220mm
水 質 改 善	残留塩素消去機能付 (亜硫酸カルシウム添加)
本 体 安 全 装 置	過電流漏電ブレーカー、ヒューズ 過熱防止、転倒時電源遮断
そ の 他 安 全 装 置	目詰まりのお知らせ機能 高温(50℃以上)警告表示

■外観図





発売元

TRIM

株式会社日本トリム

本社／大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー22階 PHONE.06-6456-4600

製造販売元

株式会社トリムエレクトリックマシナリー

〒783-0060 高知県南国市蛸が丘1丁目5番地2

改訂日:平成25年12月3日